

の研さんに加え、健康づくり課との連携により、保健指導などの情報や知識の習得に努め、被保護者への対応に当たっています。

**問** 障がい者の親亡き後を見据えた施策について伺います。

**答** 地域生活支援拠点事業において、親亡き後を見据え、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう緊急時の受け入れ対応などの機能を備えるべく、市内38法人、73事業所が協力事業所として登録し、連携を図りながら事業を推進しています。親の入院や死亡等による緊急対応に備え、令和2年度は障がい福祉サービスを利用していない知的障がい者で、保護者が70歳以上の世帯を抽出しアウトリーチを実施しました。サービスの利用や訪問の継続へとつながったケースがあり、情報共有の促進により真の緊急対応をつくらない体制を構築しています。

**問** ごみ出し困難高齢者支援事業について伺います。

**答** 1人暮らしの75歳以上の人のうち、要介護度が2以上であり、親族や近隣の協力が得られない人を対象とします。事業実施に当たっては、民生委員および居宅介護支援事業所のケアマネージャーによる周知を想定しています。また、本事業は介護保険における生活援助や、ちよいとサポート事業といった既存の制度の対象から外れてしまった人を支えるためのものであり、本事業の追加により全体的な高齢者支援につなげていきたいと考えます。

#### ■その他主な質疑、要望等

・児童虐待防止に向けた今後の支援策について

・避難行動要支援者名簿の共有と活用について

・高齢者に対する充実した買い物支援サービスの確立について

・成年後見人による犯罪防止に対する監視・監督について

#### ●衛生費

**問** 太田市外三町による広域斎場整備に向けた今後の計画を確認するとともに、新斎場の立地によっては、市外の斎場利用の増加が予想されることから、今後の火葬室使用料助成金の考え方について伺います。

**答** 新斎場は、令和7年度の供用開始を目的として計画に係る覚書を締結したところです。今後、人口予測、必要な施設の規模等を算出して、基本方針の策定および基本計画案の立案、概算工事費等の試算を実施する予定です。現在は、大泉町外二町環境衛生施設組合の敷地内を建設地の第一候補としていますが、建設地の決定を含め、整備に向けた種々の協議を進めていく中で、火葬室使用料助成金の在り方についても検討していきたいと考えます。

**問** 令和3年4月からクリーンプラザが本格稼働となることを受け、ごみ減量への取り組みを強化する必要性について伺います。

**答** 清掃センターの解体に合わせてストックヤードを整備し、リサイクルの推進を図りたいと考えます。さらに、市民へのごみ減量の重要性についての啓発が求められることから、エフエム太郎によるラジオ放送に加え、啓発動画を作製し、SNSによる発信、小学生の施設見学や授業等での活用の他、市民への貸し出しなどを行い、ごみ減量への意識が継続的に保たれるような取り組みを図っていきたく考えます。

#### ■その他主な質疑、要望等

・新型コロナウイルス感染拡大の影響による、がん検診の受診控えへの対策について

・産後うつへの支援体制の拡充について

・本市が設置している電気自動車向け急速充電器の今後の運営について

・新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の方法やスケジュールについて

#### ●労働費

**問** 地域就職氷河期世代支援加速化事業の目的と概要について伺います。

**答** パブル経済崩壊により影響を受けた就職氷河期世代に多様な社会参加への実現ができるよう支援することを目的とした国の交付金を活用した委託事業であり、IT企業への就職を目指すプログラミング人材育成キャンプ教室などの事業を予定しています。

#### ■その他主な質疑、要望等

・太田地区職業訓練校における学科種別および卒業後の状況について

・労政対策推進協議会の取り組み内容について

#### ●農林水産業費

**問** 収入保険制度加入促進事業助成金の目的について伺います。

**答** 自然災害による農産物の収穫物減少などのリスクに加え、昨年の家畜等の大量窃盗被害の発生、新型コロナウイルス感染症の影響など、先行き不透明な状況に置かれた農業者に対し、その収入減少に対するリスクに対応するため、国の政策保険への加入を後押しし、経営の安定化を図ることを目的とした保険料への助成です。

**問** 感染エリアが近隣市まで拡大しているCSF(豚熱)対策について伺います。

**答** 引き続き県を含む関係機関、養豚農家と情報共有を図るとともに、繁殖豚に対するワクチン接種費用に対する助成を行うことにより、畜産経営の維持および安定を図っていきたく考えます。

#### ■その他主な質疑、要望等

・目的外使用として遊水池にスポーツ施設を整備することの可否について

・老朽化や能力不足が危惧される排水機場の改修計画と改修に伴う課題について

・藪塚地区での地域ぐるみによる有害鳥獣対策について

#### ●商工費

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベント等が中止・縮小となった観光事業の今後の取り組みについて伺います。

**答** リニューアル予定の観光案内所を拠点とした情報発信を行うとともに、プロスポーツを活用したPR事業や都市間交流等を通じて関係人口を増やす取り組みをしていきたいと考えます。

**問** 空き店舗対策事業および商店リフォーム支援事業の活用促進が、コロナ禍を乗り越え、本市に活気を戻すための一助になると考えますが、所見を伺います。

**答** 空き店舗対策事業は、まちなかの活性化、空き店舗の解消、空き店舗を活用した起業を支援するために有効であり、商店リフォーム支援事業についても、間仕切り、空調設備の交換等、感染症拡大防止対策に効果的であると考えます。両制度を幅広く周知するとともに、希望する多くの方の利用がかなうよう、交付要綱の見直しを行う等継続的な事業実施を図っていきたく考えます。

#### ■その他主な質疑、要望等

・観光振興団体等への支援内容について

・地区商工団体の高齢化に伴う会員数減少等の課題について

・ウィズコロナ時代における近隣観光地への宿泊を促すミニマムツーリズムの有用性について

#### ●土木費

**問** 太田市空家等対策計画の計画期間延長に伴う今後の取り組みについて伺います。

**答** これまでも空家等除却補助金交付事業などを通じて空き家対策を講じてきましたが、空き家の所有者や相続人等の管理意識の希薄さから、いまだに多くの空き家が存在しています。来年度に創設予定の空き家バンクにより、空き家の有効的な利活用が図られるとともに、空き家を未然に防ぐ効果も期待できます。また、空き家の適正管理の啓発を効果的に行えるようなチラシ等を作成し、機会を捉えた配布などの取り組みを行っていきたく考えます。

**問** 本市の住宅に係る補助制度に関し、制度間の連携による実効性の向上について伺います。

**答** 木造住宅の耐震化促進を図るべく、耐震診断・耐震改修事業補助金を利用する際は、住宅リフォーム支援事業補助金の再利用に関し、10年の間隔を必要とする条件を緩和し、併用可能とすることを検討しています。また、本市の住宅に係る補助金の申請窓口のワンストップ化を図り、市民にとって分かりやすく、使いやすい補助制度にすることで、住民サービスの充実に努めたいと考えます。

#### ■その他主な質疑、要望等

・市道1級8号線における交通安全対策について

・新市民体育館建設に係る周辺道路整

#### 備について

・インクルーシブ公園の整備に関する考え方について

・スマートインターチェンジ周辺整備の展望について

#### ●消防費

**問** 地域防災計画を自主防災に生かすための取り組みについて伺います。

**答** 令和2年度に改定予定の地域防災計画の中から、地区や住民の役割について分かりやすく抜き出した概要版をつくり、ホームページでの情報発信、出前講座等での活用により、自らの命は自らが守ることの意識を高めていきたいと考えます。

**問** 防災対策への女性の意見反映の必要性に照らし、防災会議委員の見直しについて伺います。

**答** 防災に係るさまざまな課題を解決するには、女性の視点を取り入れることが必要だと考えます。令和4年度に防災会議の委員が改選になることから、関係機関と協議をしながら女性の割合を増やす等、新たな委員構成で新たな防災対策が取れるよう取り組んでいきたいと考えます。

**問** 山火事への対策について伺います。

**答** 各消防署所において管轄地域のハイキングコースや進入路、消防水利、消防車両の部署位置等の把握をして活動に備えています。加えて、3月から5月頃には林野火災の発生が多くなることから、消防車等での広報活動を実施するとともに、年間を通じて火災予防を兼ねたチラシの配布や、発生時の行動をシミュレーションするなど、火災の予防と発生した際の対応について万全を期したいと考えます。

#### ■その他主な質疑、要望等

・消防職員への新型コロナウイルス抗原検査実施の考え方について

・防災リーダーの育成について

・Live119(ライブいちいちきゅう)の活用状況と課題について

・災害対策本部における指揮命令系統について

#### ●教育費

**問** 不登校の児童生徒に対するICT(情報通信技術)を活用した遠隔授業導入への考え方について伺います。

**答** 教育研究所の研究班において、遠隔授業の研究を進める予定です。不登校の児童生徒に対しては、心のつながりを切らさないためのきっかけづくりとしてICTの活用が考えられます。その後の授業への運用等の発展性についても研究を進め、少しでも学校と関わりを保つ機会にしていきたいと考えます。

**問** 北の杜学園における太田型コミュニティ・スクールの概要と今後の市内小中学校への展開について伺います。

**答** 太田型コミュニティ・スクールは地域に根差した学校づくりを実現していくことを目的に、学校評議員会と学校支援センターを融合させたような組織と